

ERDBは何を変えるのか 趣旨説明

NIIと大学の連携によるERDBプロジェクトが狙うこと

平成25年10月30日(水)国立情報学研究所

学術基盤推進部 学術コンテンツ課副課長 高橋菜奈子

ERDBプロトタイプ構築プロジェクトとは

• 概要

- 大学図書館とNIIの連携のもとに、電子リソースに関するデータ共有のための基盤構築を行うプロジェクト(平成24(2012)年度開始)

• 目的

- 大学図書館の連携により、**電子リソースに関するデータ共有のための基盤**を構築することで、紙媒体を中心とした従来の総合目録データベースと併せて、電子媒体 および紙媒体の学術情報への迅速かつ的確なナビゲートを実現し、**利用者の学術情報のアクセシビリティを向上**させることを目的とする。

• 実施体制

- 国立情報学研究所(開発, サーバ管理, 課題整理, 連絡調整)
- JUSTICE(コンソーシアムデータの収集, 統計データの分析)
- 参加図書館(データの提供, システムの利用・検証)
 - 東北大学, 東京大学, 電気通信大学, 一橋大学, 横浜国立大学, 京都大学, 九州大学, 大阪市立大学, 学習院大学, 慶應義塾大学, 明治大学, 筑波大学, 名古屋大学, 大阪大学, 島根大学, 佛教大学

電子ジャーナルの管理・アクセス提供をめぐる課題

- ・刻々と変化する電子リソースの管理・提供は難しい。
- ・紙媒体の資料を管理するNACSIS-CATの延長線上では電子リソースを管理できない。

利用者のアクセスに障害



図書館の信頼性の低下！

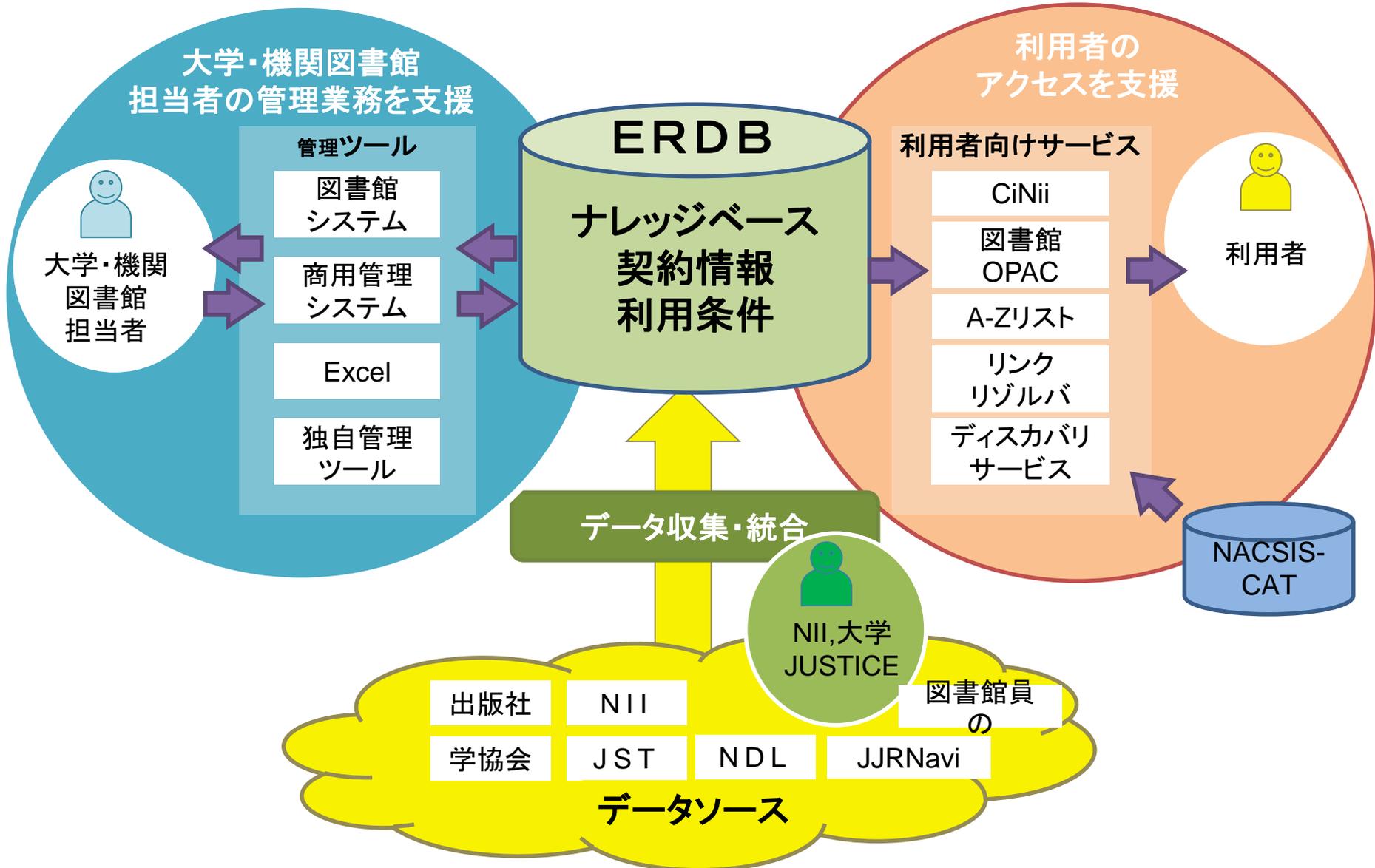
H23.3 アンケート調査に寄せられた声

- ・電子リソースの管理は手間がかかる
- ・予算面からERMS等の商用のシステムの導入は困難
- ・たとえ導入できたとしても、データの移行や管理が大変
- ・管理データを共有できない
- ・他館の契約状況がわからない
- ・紙と電子のシームレスな検索が必須

NACSIS-CAT(紙媒体を中心とした従来の総合目録データベース)では扱えなかったナレッジベースを扱うデータベースを作ろう！

⇒ERDBプロトタイプ構築プロジェクトの開始

ERDBとは



本日の各講演の紹介

- 「今、なぜERDBが求められるのかー大学における学びの観点からー」
東北大学 米澤誠さん
- 「ERDBとシステム連携-運用の具体的イメージを見てみよう-」
佛教大学 飯野勝則さん
- 「ERDBの開発状況」
国立情報学研究所 木下克之さん
- 質疑応答
フロアの皆様からの疑問に答えます！